



子どもたち、若者たちの 生きづらさと自己肯定感

「自分が自分であって大丈夫」

しかられたり否定されたり……、多くの子どもたちが自分はこのままでいいのだろうかという思いを抱えています。ただほめればいいというのではなく、どうすれば自己肯定感を育てることができるのか、なぜ自己肯定感は大切なのか、一緒に考えたいと思います。子どもたちのおかれている社会的な背景についても考える機会としたいと思います。

今回は、心理臨床家の高垣先生に“不登校・ひきこもり”を切り口にしてお話をさせていただきます。日頃私たちがなかなか気づくことのできない思春期の思いにもふれていただきます。

● 講演 高垣忠一郎 さん（心理臨床家）

1944年高知県生まれ。

1968年京都大学教育学部卒。専攻は臨床心理学。

京都大学助手、大阪電気通信大学教授、立命館大学大学院教授などを歴任（2014年退職）。登校拒否・不登校問題全国連絡会世話人代表。

<主な著書>「生きることと自己肯定感」「揺れつ戻りつ思春期の扉」

「自己肯定感って、なんやろう」「競争社会に向き合う自己肯定感」

「共に待つ心たち―登校拒否・ひきこもりを語る」ほか多数



● 日程 11月26日（日）13:25～16:50（受付13:10～）

13:25～13:30 あいさつ・連絡

13:30～15:00 講演

15:00～15:20 全体交流会（質問）

15:30～16:50 交流会

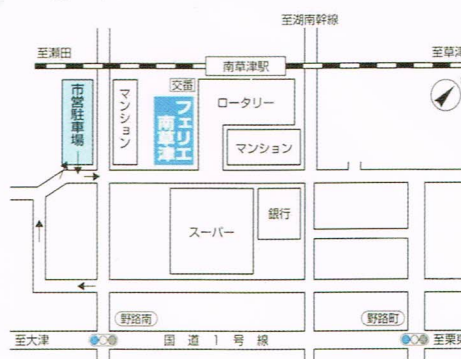
①小学校 ②中学校 ③高校 ④青年

● 会場 草津市立市民交流プラザ

草津市野路1丁目15-5 「フェリエ南草津」5階

JR「南草津駅」東口より徒歩2分

市営駐車場はスペースに限りがあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。



● 参加費 500円

対象：どなたでもご参加いただけます。申込みは必要ありません。

主催・連絡先 登校拒否・不登校問題滋賀県連絡会

090-4037-2484（田江） メール tsudoishiga@gmail.com <http://tsudoishiga.jimdo.com/>